

朝日大学病院を受診された患者さまへ

研究情報の公開について（オプトアウト）

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明し同意をいただきます。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いるものは、国の定めにより、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得る必要はなく、研究の目的や方法などの情報を公開のうえ、拒否の機会を保障しなければならないものとされております。このような手法を「オプトアウト」といいます。当院では、このオプトアウトを用いた研究を下記のとおり行います。研究への協力を希望されない場合は、下記に記載の担当者までお知らせください。

研 究 課 題 名	透析液流量比率設定にて QB:QD=1:2 とした際の透析効率評価
当院の研究責任者 (所 属)	吉田 直樹 (朝日大学病院 臨床工学部 臨床工学技士)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	該当なし
本 研 究 の 目 的	透析液流量比率設定運用の評価
調査データ該当期間	2024年5月1日～2024年7月31日
研究の方法(使用する 資料等)	上記期間に当院で透析を受けられた患者さんの診療情報（年齢、性別、検査データ、透析条件）
試料/情報の他の機関 への提供	該当なし
個人情報の取扱い	得られた情報はすべて匿名として扱わせていただきます。年齢・性別の公開は可能性としてありますが、個人に不利益や危険性が及ぶことはございません。
本研究の資金源(利益 相反)	利益相反なし
お 問 い 合 わ せ 先	研究代表者 臨床工学部 臨床工学技士 吉田直樹 058-253-8001（代表）
備 考	